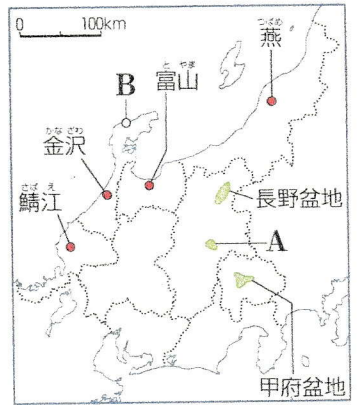


④ 内陸にある中央高地の産業の移り変わり。雪とのかかわりが深い北陸の産業

- (1) 右の地図の甲府盆地や長野盆地では、かつて養蚕がさかんであった。まゆから生糸をつくる工業を何といいますか。

( 製糸業 )



- (2) 第二次世界大戦後に精密機械工業が発達した、地図のAの盆地を何といいますか。

( 諏訪盆地 )

- (3) 北陸で多く生産されており、新潟県の魚沼産が有名な金柄米を何といいますか。

( コシヒカリ )

- (4) 地場産業の眼鏡フレームづくりがさかんな都市を、地図に名をあげた都市から一つ選びなさい。

( 魚青三工 )

- (5) 地図のBの都市の伝統的工芸品の漆器を何といいますか。

( 輪島塗 )

- (6) 北陸では農家の副業から地場産業がさかんになった。なぜ副業が行われたのか、この地域の気候と関連づけて書きなさい。

( 雪が多く、冬の間の農作業が難しかったから。 )